

前回6月12日の例会記録

出席の状況

会員数 55名 (内出席免除 2名) 出席者数 38名 欠席者数 17名

出席率 70.37% 前々回訂正 88.89%

欠席者 相原, 原, 入江, 加戸, 鴨井, 川本, 菊井, 橋高, 小松原, 熊野, 西岡, 大畑, 岡村, 鈴木, 丹治, 槌田, (渡辺)

S.A.A.

岡本(和)会員：榎野博史先生、本日のご訪問ならびに卓話ありがとうございます。会長不在で申し訳ありません。

平松会員：多くの優秀な人材を輩出された榎野博史 岡山大学学長の卓話を拝聴できますことに心から感謝申し上げます。

竹本会員：岡山大学学長 榎野博史様、本日『しなやかに超えて行く「実りの学都」へ』と題して、お話をいただくこと、とても楽しみです。お忙しい中、本当に感謝致します。

氏房会員：榎野様、お忙しい中での卓話、ありがとうございます。

木本会員：榎野先生、本日はありがとうございます。大変な重責です。ご来会ありがとうございます。いつも休んでばかりで申し訳ないです。

花房会員：先日のゴルフコンペは成績はともかく、(空振り4回)良い汗を流すことができました。夏休みをはさんでの9月開催を楽しみにしています。そして松村さん、優勝おめでとうございます。

大賀会員：土曜日のゴルフ同好会に参加させて頂き、とても楽しい1日を過ごせました。

松村会員：土曜日のゴルフコンペでは、メンバーに恵まれ、天候に恵まれ、そして何と言ってもハンディキャップに恵まれ、初優勝させていただきました。最高の一日となり、ありがとうございます。

樋口会員：昨日、広島 大崎上島トライアスロンに参加してきました。スイム1.5km、バイク40km、ラン10kmで2時間50分は、今年最初にしては満足です。少し水温が低くて泳ぎにくかったですけど、無事完走出来たのでスマイルします。

日笠(常)会員：児島様、ご結婚誠におめでとうございます。以前に「家族を持つなど、考えただけでも面倒だ」と言っておられました。突然の何かがあったものと思います。

10件 37,000円 (累計 1,447,000円)

副会長報告

副会長 竹本 千代子

本日は、岩本一寿ガバナー補佐、岡本和夫会長、川西熊雄友好クラブ委員長、岡本浩三親睦委員長さん達が奥様方ご同伴で、アトランタで開催されている国際大会に出席されています。きっと多くの気付けや、感動を得てお帰りになり、皆様方にご報告される事と思います。次回の例会を楽しみにしたいと思います。

梅雨に入ったといっても、晴れ間も多く、過ごしやすいですが、これから食中毒の発生も多い時期であり、体調も崩れやすい季節になりますので、どうぞ皆様、食生活には気を付けてバランスの良い食事と、睡眠を充分とって健康に気を付けていただき、例会出席よろしくお願ひ致します。



幹事報告

幹事 末吉 賢多

- ① ロータリーの友6月号を配付しております。
- ② 本日の卓話資料をテーブルに配付しております。
- ③ 岡山済生会福祉施設合同広報誌「木もれ陽」No.64、他クラブ週報を回覧いたします。



ご結婚のお祝い

児島正典会員が、6月4日に入籍をされました。おめでとうございます！



外部卓話

「しなやかに超えて行く「実りの学都」へ」

岡山大学学長 横野 博史 様(岡山南RC)

岡山大学は今から68年前、幕末の岡山藩医学館をはじめとする歴史ある高等教育機関群によって総合大学として創立されました。2020年には、本学の医学部は創立150周年を迎えます。

この長い歴史の中で、本学は、11学部7研究科3研究所、大学病院そして附属学校園という大きな規模にまで発展することができました。本学は、「晴れの国」とも呼ばれる穏やかな気候の岡山市中心部に、緑豊かな広大なキャンパスを有し、恵まれた環境のもと、現在約2万人の学生、留学生、教職員が日々研鑽を積んでおり、本学はこれまで、大学と岡山地域全体が一体となって「学都」を創生する取り組み、すなわち「学都構想」を継承してきました。私は学長就任に当たり、新ビジョン「超えていく、実りの学都へ」を提唱し、それぞれが異なるカラーを持つ学部や研究科等が垣根を越えてその成果を実質化し、社会に還元する「彩(いろどり)あるAcademia」を形成していくことを目指しています。

これからの人類社会が直面する多くの課題は、世代、分野、文化、思想、国境など、さまざまな要素がこれまでに以上に複雑に絡み合ったものであることが予想されます。私は、「和顔愛語(わけんあいご:和やかな顔とやさしい言葉)」を合い言葉にリーダーシップを取り、「知」の源となる好奇心の種を共有しながら、課題解決に取り組む”世界最高水準の人材”を育成していきたいと考えています。

現在、国連の掲げる「持続可能な開発目標(SDGs)」をはじめ、国内外では「社会貢献と科学の協働」が強く求められています。日本そして岡山という、世界にとっても早期解決が求められる社会的課題の宝庫から、地方大学の強みを活かした発想と機動力で、教育・研究を通じた新たな社会貢献のアイデアを発信し続けたいと思います。岡山大学はこれからも「実りの学都」創生に向けて、地域と教育再生、地域と技術・環境、地域と医療、まちづくりなど、地域並びに国際的な協働に関する様々なテーマへの取り組みを進展させ、ひいては地域社会の価値をより高めて参ります。

岡山ならではの世界に輝く「実りの学都」をつくり上げるため、全力を尽くして取り組みます。これからも岡山大学へのご理解とご支援を宜しくお願いいたします。



クラブ情報

第275回 ゴルフ同好会 成績表他

場所 山陽ゴルフ倶楽部

日時 平成29年 6月10日(土) スタート I N 3組 12人

順位	RANK	NAME	OUT	IN	GROSS	HD	NET
優勝		松村 秀治	53	55	108	36	72
準優勝		大賀 基弘	36	43	79	6	73
第3位		鈴木 一生	47	49	96	21	75

梅雨の初めの中、よい天気にも恵まれ、ゴルフ日和の一日でした。

さて、今回は今期最終戦で、ハンデが沢山ある方が優勝を狙える時期でもあります。HD36をもつ松村会員がかろうじて優勝し、久々の大賀会員がOUTを36で回り2位、鈴木会員が連続3位で今季のゴルフを終えました。HD改正をして9月からまた活動をいたします。

次回9月16日、後楽ゴルフ倶楽部にて5組予定しています。



野球同好会報告

野球同好会キャプテン 小菅 英司

6月8日(木)19時から灘崎野球場に於いて、笠原会員紹介の天満屋OBチームと対戦し、乱打戦となりましたが、16対12で今年初勝利することができました。

6月9日(金)には、西岡会員の紹介で高松西RCに对外試合を申し込むために、私と西岡会員と日笠(伸)会員の3名で先方の例会に出席してきました。そこで先方の監督さんとマネージャーさんと年内に岡山・高松で1試合ずつ行うことで合意しました。

高松西RCは当クラブと同規模で、例会運営も今後の参考にさせていただきたい点がありました。また、バナー交換もしてきました。今後、野球を通じて近隣の他クラブとも交流を図ってまいります。



寄稿文「戦艦大和と日本」③

藤岡 温 会員

(続「戦艦大和と日本」)

(パート3)大和の生と死

・昭和12年11月 起工

・昭和15年8月 進水

・昭和16年12月 完成(16日竣工:開戦時の旗艦は長門)

基本排水量 6万5000トン 全長 263メートル 全幅 38.9メートル

乗員 竣工時2500名、最終時3332名 球状艦首(バルバスバウ)波の抵抗を減らす

15メートル測距儀 左右の対物レンズ越しに目標物を捉え距離を算出する光学機器

45口径46センチ3連装砲塔3基(9門) 46センチ砲弾 91式徹甲弾(全長1.95メートル)

主砲塔の直径は約13メートルにもなり、艦幅はその3倍は必要とされる。

パナマ運河の幅33.52メートル以下の艦幅で搭載可能砲は40センチ砲3連装が限度。これを搭載した戦艦アイオワの全幅は32.9メートルで最大射程距離は3万8000メートル。これに対し46センチ砲の大和の最大射程は4万1400メートルで3100メートルほど遠くから撃てる。この意味において戦艦同士での砲撃戦では大和は絶対の不沈艦である。

・昭和17年2月12日 連合艦隊司令部が移乗し、旗艦となる(18年2月からは武蔵)。

・昭和17年6月 ミッドウェー海戦へ出撃、4大空母失う。

・昭和18年 呉工廠とトラック島との往復。海戦の出番なし。4月18日山本五十六司令官戦死、10月ラバウル大空襲など米機動部隊活発化。

・昭和19年1月から3月 最初の大改装:両舷の副砲(15.5センチ3連装、巡洋艦最上型の主砲)を撤去、高角砲・機銃の設置、電探も逐次設置。2月トラック島空襲

・昭和19年10月 17日米軍レイテ湾スラン島上陸、18日栗田艦隊レイテ湾めざしリンガ泊(ボルネオ)出航(捷一号作戦)、24日大空襲で武蔵沈没、25日全軍「突撃セヨ」大和初めての主砲発射164発、数度にわたり猛空襲を受け、直撃弾も喰らう。同夜までに北方に謎の反転(小澤艦隊囮作戦成功でハルゼー機動部隊が出払っていたことを知らなかったのか)。艦艇の消耗激しく、以後組織的な艦隊作戦不可能になる。

・昭和19年末から20年初め 最終改装:高角機銃を針山のように大增設。

・昭和20年3月19日 呉大空襲、大和被弾軽微。燃料不足深刻

・昭和20年4月 1日米軍沖縄本島上陸、5日沖縄特攻正式下命(天一号作戦)、4月3日着任の少尉候補生49名退艦、6日15時20分徳山沖抜錨出撃、訓示「海上特攻ノ本領ヲ發揮セヨ」、燃料は往復分4000トン搭載(正式指令は片道分だったが帳簿外重油をかき集めて往復分調達)、6日20時米潜水艦と接触(作戦命令は初めから傍受されていた)、屋久島西方海上にて7日12時40分から3波にわたる猛攻撃、14時23分「左舷二大傾斜(艦底露出)ノ後誘爆瞬時にシテ沈没」。主砲は1発も使われなかった。

駆逐艦雪風などによる救出活動(大和生存者269名、死者司令部含め3063名、全艦隊では4044名)、米軍損害は航空機10、パイロット、搭乗員12名死亡。

この彼我の損耗の違いの大きさは、何を物語るものか。もはや尋常ではない。

例会情報

本日のメニュー (6月19日)

握り寿司盛り合わせ 寿司(鯖炙り 鯛 鮪 焼穴子 玉子 梅肉 がり)(県産昔醤油)

小皿 野菜のつくね天 生姜醤油

小鉢 法蓮草胡麻和え 薄揚げ 人参 くこの実

温物 茶碗蒸し 餡掛け 振り柚子

赤出汁 浅利 刻み葱 粉山椒(備前味噌仕立て)

次回のメニュー (6月26日)

シーフードのサラダ トマトのジュレを添えて

牛フィレ肉のロースト ガーリックでつないだラトウユ

デザート コーヒー パンとバター